

# おやま 市議会だより



第306号

## ●主な内容

# 令和2年度小山市一般会計歳入歳出決算を認定 小山市敬老祝金条例を一部改正

議案とその内容……………	②	委員会報告……………	④～⑦
人事案件……………	②	市政一般質問……………	⑦～⑪
陳情……………	②～④	議会日誌……………	⑫
審議結果……………	③	次回定例会の予定……………	⑫
意見書……………	④		

令和4年2月1日号



絹地区から望む日の出前の筑波山（撮影者：Photo Art きらら 持田 慎一 氏）



**小山市議会**

編集 議会広報委員会

# 12月

## 定例会のあらまし

令和3年11月30日～12月23日

令和3年第4回(12月)定例会は、11月30日から12月23日まで24日間の会期で開かれました。

本定例会では、令和3年度一般会計補正予算案をはじめ、各会計の補正予算案、条例の制定・一部改正・廃止案、人事案件および陳情などについて審議しました。

11月30日、9月定例会で継続審査となっていた令和2年度一般会計歳入歳出決算を認定し、その後、市長から市政一般および近況について報告がありました。

続いて議案19件、報告4件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件1件を可決しました。その後、補正予算案1件が追加上程され、これを可決しました。

12月2日、3日、6日および7日は、4会派および10人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

7日は、上程議案に対する質疑の後、議案および陳情を各委員会へ付託しました。その後、補正予算案1件が追加上程され、委員会へ付託しました。また、12月9日、10日および13日から15日には各委員会が開かれ、議案および陳情を審査しました。

12月23日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案18件を可決、補正予算案1件を修正可決、陳情1件を採択、陳情3件を不採択としました。さらに議員提出議案1件が上程され、これを可決し、定例会を閉会しました。

### 主な議案

12月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆令和3年度小山市一般会計補正予算(第6号)―歳入歳出それぞれ14億4980万円の増額

補正。子育て世帯への臨時特別給付金(先行給付金)給付事業費など、補正後の予算総額は682億3027万1千円。

◆令和3年度小山市一般会計補正予算(第7号)―歳入歳出それぞれ61億7939万7千円の増額補正。住民税非課税世帯への給付金給付事業費、学童保育クラブ感染症対策事業費、子育

て世帯への臨時特別給付金(後続給付金)給付事業費、認定こども園等施設型給付事業費、民間保育施設感染症対策事業費、

新型コロナウイルススワクン接種事業費、ICT教育環境整備事業費、校舎照明LED化改修事業費、小中学校のトイレ改修事業費など、補正後の予算総額は744億966万8千円。

◆小山市敬老祝金条例の一部改正について―一般の平均寿命の延伸を踏まえ、敬老祝金のあり方について、学識経験者等で構成される小山市敬老事業検討委

員会で検討した結果、満77歳および満88歳の方への敬老祝金の対象年齢を引き上げ、満95歳および満101歳以上の方への敬老祝金の廃止等を行うもの。

### 修正案

#### 補正予算を修正可決

定例会最終日、予算審査常任委員会から、議案第1119号に対する修正案が提出され、審議の結果、賛成多数で可決しました。なお、修正案を除く部分については、原案を可決しました。

◆令和3年度小山市一般会計補正予算(第7号)に対する修正案―議案第1119号の第3条中「第3表 債務負担行為補正」

から、「No.31小山市立生涯学習センター―管理業務委託(期間:令和3年度から令和6年度まで・限度額:8400万円)」を削除するもの。

### 人事案件

◆人権擁護委員候補者の推薦について

小山市駅南町1丁目

古川 勉(再任)

昭和29年7月6日生

小山市大字中島

野口 隆夫(新任)

昭和31年4月14日生

小山市大字間々田

荒川 久雄(新任)

昭和29年6月4日生

小山市大字喜沢

鈴木 和夫(新任)

昭和31年6月14日生

小山市大字横倉

鈴木 史隆(新任)

昭和33年12月31日生

小山市大字下初田

須賀 保典(新任)

昭和29年12月15日生

### 陳情

12月定例会では、新たに受理した陳情3件および閉会中の継続審査となっていた陳情1件について審議しました。その結果、





が提出されたものとみなし、2  
委員会が審査が行われました。  
▽審議結果 ①②不採択／③不  
採択

●国に対し「刑事訴訟法の再審  
規定（再審法）の改正を求める  
意見書」の提出を求めること  
に関する陳情書

〔提出者〕

宇都宮市下戸祭1丁目

日本国民救済会栃木県本部

会長 須藤 博

〈趣旨〉以下の2点の内容につい  
て、意見書を国へ提出すること  
を求めるもの。

- ①再審における検察手持証拠  
の開示制度の法制化
  - ②再審開始決定に対する検察官  
の不服申し立て（上訴）の禁止
- ▽審議結果 不採択

**継続審査に付されていたもの**

陳情1件

●陳情書（「ウイグル人等の自  
由、基本的人権の尊重及び法の  
支配が保障されるよう働きかけ  
ることを求める意見書」の提出）

※陳情の趣旨は、市議会だより

11月1日号の4ページを  
ご参照ください。

▽審議結果 採択



市議会だより  
11月1日号

**意見書**

定例会最終日、総務常任委員  
会から1件の意見書案が提出さ  
れました。審議の結果、原案ど  
おり可決し、衆議院議長、参議  
院議長、内閣総理大臣および外  
務大臣に送付しました。

◆ウイグル人等の自由、基本的  
人権の尊重及び法の支配が保障  
されるよう働きかけることを求  
める意見書―陳情の採択を受け  
提出されたもの。

**委員会審査から**

議案は、本会議で議決される前に、  
原則として各委員会で慎重な審査  
を経ていきます。委員会審査の中か  
ら、主な質疑を紹介します。

**総務（陳情）**

▼国に対し「刑事訴訟法の再審  
規定（再審法）の改正を求める意  
見書」の提出を求めることに関  
する陳情書

意見 えん罪は対象者のかげが  
えのない人生を奪うなど、あつ  
てはならないことであるが、本

陳情は高度で専門性の高い手続  
きの改正を求めた内容であり、  
国において慎重な議論が行われ  
ていると思うので、不採択とし  
たい。

意見 法律は、弁護士や検察官  
が同じ問題を異なる立場で判断  
する。本陳情は弁護士の立場で  
提出されており、弁護士側、検察  
側ともに時間をかけて審議する  
ことが大切であり、上訴の禁止  
や審議に時間がかかりすぎるこ  
とを理由に法改正を求めること  
には疑問を感じるため、不採択  
としたい。

意見 えん罪はいかなる理由が  
あろうと生み出してはいけない  
という趣旨は理解できるが、検  
察側が証拠を提示しない理由が  
いまだ表明されていない。もう  
少し法曹界での議論を見守るた  
め、継続審査としたい。

▼陳情書（「ウイグル人等の自  
由、基本的人権の尊重及び法の  
支配が保障されるよう働きかけ  
ることを求める意見書」の提  
出）

意見 日本政府は、国際社会に  
おける普遍的価値である自由、  
基本的人権の尊重、法の支配が

中国においても保障されること  
が重要と考えており、国際社会  
から関心が高まっている中国の  
人権状況について、日本として  
中国政府が透明性のある説明を  
するよう働きかけている。また、  
引き続き国際社会が連携して中  
国側に働きかけていくことが重  
要であると考えているとのこと  
である。差別や人権侵害はあつ  
てはならないことである。小山  
市は中国に友好交流都市があり、  
経済的にも中国と密接な関係に  
あるが、それらとは切り離して  
差別、人権侵害は問題であるこ  
とを小山市議会として表明すべ  
きと考えるので、採択としたい。

意見 メディアでは、中国国内  
における中国共産党による弾圧  
が取り上げられている。オリン  
ピックの問題もあるが、政治と  
スポーツは分けるべきであり、  
本陳情については採択し、日本  
政府に対し意見書を提出するこ  
とがタイムミング的にもよいと思  
われる。

意見 欧米諸国が中国に対し制  
裁をかけているが、本当に人権  
問題の解決につながっているの  
か疑問がある。制裁により、か

えって弾圧が強くなる面や、中国現地での日本企業や日本人への影響も考えられ、慎重な判断が必要と思われるので、継続審査としたい。

## 民生



▼**小山市敬老祝金条例の一部改正について**

**問** 今回の改正にあたり、小山市敬老事業検討委員会でのよ  
うな意見が出たか。

**答** 検討委員会では、平均寿命が延びており、75歳から80歳くらいの方が現役で働いているなどの意見や、敬老事業も時代に即した形で見直しを行うべきとの意見があり、今回の改正に至ったものです。

▼**指定管理者の指定について（市民交流センター）**

**問** 桑市民交流センターで導入している予約システムの操作方法が分からない方に対して、電話予約の対応をしているか。

**答** 施設の予約方法は指定管理者に任せており、電話での受付は行っていませんが、予約システムの操作方法が分からない方

に対して、窓口でスタッフが丁寧に説明しながら予約していただく方法をとっています。

▼**小山広域保健衛生組合規約の一部変更について**

**問** 小山市、下野市および野木町で構成する小山広域保健衛生組合が、共同処理している結核検診を、下野市が独自で行うことによる小山市の負担割合の変更は。また、今後の小山市、野木町における結核検診の方向性は。

**答** 負担割合については、各市町の人口規模により決まるもので、今回下野市が独自で行うことにより、小山市の分担金は約40万円増額となる見込みです。共同処理の見直しについては、平成30年ごろから話題に挙がり、その後、構成市町で結核検診のあり方を協議してきました。今後の結核検診の方向性については、令和3年度で検診の契約年度が終了することから、準備が整った市町から独自に検診を行う方向となり、まず下野市が独自に検診を開始し、小山市・野木町についても、令和5年度から独自に実施する予定です。

## 民生（陳情）

▼**新型コロナウイルス対策に関する見直しを求める陳情書（所管部分、陳情事項①②）**

**意見** 令和2年7月から感染者が急増したが、9月末ごろから急激に減少したのは、ワクチン接種率の上昇による集団免疫の効果だと思う。また、接種証明書等の提示を求められる場面は、海外渡航時や大規模イベントへの参加時で、日常生活において提示を求められることがないことから、非接種者が差別されているとは思わないため、不採択としたい。

**意見** ワクチン接種をするかしないかについては、すべての国民が選択できる状況にあると考  
えている。陳情者が述べているワクチン接種によるリスクと感染予防効果を比較すると、感染  
考えられることから、不採択と  
したい。



## 教育経済

委員会開催に先立ち、令和4年4月に開校予定の豊田小学校の現地調査を行いました。



現地調査の様子（豊田小学校）

▼**財産の取得について（豊田小学校備品）**

**問** 豊田小学校で購入する備品に、普通教室で児童が使用する机や椅子が含まれていない理由  
は。

**答** 豊田小学校の備品は、豊田北小学校と豊田南小学校の備品を引き続き使用することを前提とし、学校現場と協議しながら新たに購入する備品の検討を行いました。





## ▼指定管理者の指定について (小山市勤労者総合福祉センター)

**問** 勤労者福祉会館を勤労青少年ホームに移転・集約し、勤労者体育センターと合わせて小山市勤労者総合福祉センターにするメリットは。また、削減できる指定管理料は。

**答** メリットは、包括的なサービスが一カ所で提供できるため、利便性の向上や、利用者数の増加が期待できることです。指定管理料については、現在、勤労青少年ホームと勤労者体育センターで年額2200万円となつていますが、集約後の小山市勤労者総合福祉センターに入居する小山市勤労者共済サービスセンターを指定管理者にすることで、600万円が削減できます。



勤労者福祉会館を移転・集約予定の  
勤労青少年ホーム（犬塚3丁目）

## 教育経済（陳情）

**▼新型コロナウイルス対策に関する見直しを求める陳情書（所管部分、陳情事項③）**

**意見** 12歳未満の児童はコロナワクチンを接種しておらず、手洗い・うがいと並び、マスク着用は飛沫飛散を抑える重要な感染症対策である。また、国のガイドラインにおいて、体育の授業等では密を避けたいうえでマスクを外すことが認められていることから、不採択としたい。

**意見** 本陳情で、マスク着用による感染を防ぐ科学的根拠がないと表現されているが、社会情勢を鑑みるとマスク着用推奨を中止することにはならないと考えるため、不採択としたい。

## 建設水道



**▼小山市市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について**

**問** 今後の自転車通行帯の整備についての考えは。

**答** 交通量の多い道路に整備さ

れている1・5mの路肩を、自転車通行帯として使用することを考えています。今後、警察などと協議の上、自転車通行帯を設置する方向で検討していきま

す。

動のノウハウを持つ市職員がほとんどいなくなってしまう、指定管理者の運営を正しく評価できるか危機感を抱いており、市職員が司令塔的な役割を果たせるようにコストをかけてでも直営に戻したいと考えています。

**▼小山市開発行為の許可基準に関する条例の一部改正について**

**問** 条例改正により、市街化調整区域において開発行為が認められる指定区域から浸水想定区域が除外されるが、浸水想定区域の確認方法は。

**答** 洪水ハザードマップには浸水の深さを示す色がついていますが、色がついているところは、色の濃淡に関係なく浸水想定区域になります。

## 予算審査



**▼令和3年度小山市一般会計補正予算（第7号）**

**問** 小山市立生涯学習センターを直営に戻す理由は。

**答** 今回の直営化は、企画運営を市の職員が行い、窓口業務と施設管理を業務委託で行うものです。直営化の理由は、指定管理が続いたことにより、市民活

動のノウハウを持つ市職員がほとんどいなくなってしまう、指定管理者の運営を正しく評価できるか危機感を抱いており、市職員が司令塔的な役割を果たせるようにコストをかけてでも直営に戻したいと考えています。

また、社会教育主事のような資格を持った市職員を養成し、社会教育をリードできるようにしたいと考えています。

**意見** 直営化について十分な説明がなされていない。小山市は財政調整基金が少なく、事業を見直している中で、コストがかかって直営にするメリットなどを丁寧に説明してもらいたい。

**意見** 現在の指定管理者は市民からの評価が悪くないのに、市の都合で運営形態を変えてしまうと、今後、市が指定管理者を募集する際に、事業者が応募を控えてしまうのではないかと。また、直営化は地方行政サービス改革推進の取り組みに逆行しているのではないかと。

**意見** 市職員の人材育成についても、民間団体と協力して勉強するなど異なる方法があるかもしれないので、もう一度精査し

たほうが良いのではないか。  
**意見** 生涯学習と市民活動の連携を図ることが直営化の大きな理由であるから、行政と市民が互いに連携・理解していくために、直営で進めてもらいたい。



小山市立生涯学習センター（ロブレ6階）

**問** 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の進捗状況は。

**答** 児童手当の給付を受けている15歳以下の方を対象に、令和3年12月23日に5万円、残りの5万円を令和3年12月27日に現金で給付します。また、16歳から18歳までの対象者は、申請が必要となることから、受付・審査を行い、令和4年1月から現金10万円を一括給付できるように進めています。



# 市政を問う

## 12月定例会 市政一般質問

※発言順に掲載 ○は会派代表質問を行った議員

### 会派代表質問

#### 自民未来塾

- 渡邊 一郎
- 荒井 覚
- 小川 亘
- 篠崎 佳之
- 岡田 裕
- 関 良平
- 福田 洋一
- 福田 幸平
- 高橋 栄



渡邊 一郎  
議員

**質問事項** ①総合政策行政②国際交流事業③環境行政④全国学力・学習状況調査⑤公園等の整備

**問** 令和4年度予算編成方針について伺う。

**市長** 予算編成の基本方針では、市民サービスの水準を維持し、市民に最も身近な基礎自治体としての責務を果たすため、市政運営の基本方針を念頭に、第8次小山市総合計画に掲げる諸政策の着実な推進を図り、特に収束の見えない新型コロナウイルス感染症の拡大防止と市内経済の速やかな回復のための対策を

最優先に掲げました。また、コロナ禍に伴い加速度的に変容した生活様式や働き方を踏まえたデジタル化への対応、近年全国的に多発する豪雨等風水害への対策等に積極的に取り組むこととしていきます。

**問** 間々田のじゃがまいた伝承館整備の進捗状況は。

**教育部長** 令和2年度から、じゃがまいた伝承館を検討するための懇話会を設置し、整備基本構想を策定しました。当初のスケジュール案では令和3年度に整備基本計画を策定し、令和4年度に基本設計・実施設計、令和5年度に建設工事、令和6年度に開館を想定していましたが、国の都市構造再編集中支援事業の補助率が低下することや、同事業の終期である令和5年度までの竣工が困難であることから、見直しが必要となりました。今後は、候補地、スケジュールおよび組織構成等について懇話会で議論いただき、合意形成を図った上で基本計画を策定し、整備を進めていきます。





市政会

- 小林 英恵 安藤 良子
- 大出 ハマ 植村 一
- 橋本 守行 嶋田 積男
- 渡辺 一男 細野 大樹



渡辺 一男 議員

**質問事項** ①総合政策行政②産業観光行政③保健福祉行政④教育行政⑤消防行政

**問** 小山市における有害鳥獣(イノシシ)の現状と市の対策等、今日までの状況について伺いたい。

**産業観光部長** 小山市では、有害鳥獣による農業被害対策として、令和3年11月時点で、思川周辺を中心に32基の箱わなと1基の囲いわなを設置しています。イノシシの捕獲頭数は、平成30年度100頭、令和元年度127頭、令和2年度145頭、令和3年度は11月末時点で142頭です。また、県の有害鳥獣河川敷緩衝帯整備事業を活用し、

JR両毛線の思川鉄橋付近から北側の河川敷にかけて、約44・8ヘクタールの環境整備を実施しました。引き続き、河川管理者である国や県と連携し、捕獲や環境整備等によるイノシシ対策を進めていきます。

**問** 豊田小学校の施設概要、整備の進捗状況および今後の計画について伺いたい。

**教育部長** 校舎の1階は鉄筋コンクリート造り、2階は木造で、内装は木のぬくもりを感じられるものとなりました。特徴としては、パソコン室と図書室を一体化させたメディアセンターや、地域でも利用できる部屋を設けたほか、普通教室や特別教室に加え、屋内運動場にもエアコンを設置しました。さらに感染症対策として、水道をセンサー式およびレバー式蛇口としたほか、換気を容易にするため網戸を設置しました。整備の進捗状況および今後の計画は、校舎および屋内運動場の建設工事が令和3年9月末に竣工し、外構工事が令和3年度末に完了予定です。



市民派21

- 山野井 孝 ○石島 政己
- 塚原 俊夫 青木美智子



石島 政己 議員

**質問事項** ①市長の政治姿勢②2022年度予算編成方針③新型コロナウイルス感染症対策④人事⑤土木行政⑥国体開催に向けて

**問** コロナ感染第6波に備えた徹底した検査体制のもと、一人でも多くの感染者の発見と感染者の隔離施設等の確保を求める。

**保健福祉部長** 市では第6波に備えるため、市内社会福祉施設などでの新型コロナウイルス感染症陽性者発生時に、感染が懸念される方に抗原検査を実施する新型コロナウイルス感染症抗原検査事業や、医療機関でPCR検査などを受けた市民を対象とした検査費用助成金制度を開始しました。また、県南地区への臨時医療施設等の設置を県に要望するとともに、県および小

山地区医師会と運営について協議を進めています。

**問** 大谷東部土地改良事業において創出の非農用地を活用し、調整池を整備することを前提に、小山市雨水排水計画の見直しができるか。

**建設水道部長** 西仁連川流域の市街化区域内の雨水を思川へ排除するという現在の計画は、多大な費用を要することから見直しを進めてきました。今回、大谷東部地区土地改良事業により創出される非農用地を調整池用地として活用できる可能性が出てきたため、令和3年3月に市内プロジェクトを立ち上げ、調整池整備の必要性の検討を行い、計画概要の確認や現地確認を行うとともに、河川管理者と協議を行い、現在の排出量を変更しないことを前提に西仁連川へ雨水を排除することを可とする回答を得ました。これを受けて調整池整備の事業手法の検討を行い、現在、全体の雨水流出量を計算し、必要貯水量を算定中で、今後市内での意思決定後に、県と協議を行い、雨水排水計画に反映したいと考えています。



おやま創生会

苅部 勉 森田 晃吉  
○土方 美代



土方 美代  
議員

質問事項 ①食品ロス②治水対策③マイナンバー④ワクチン接種⑤自治会

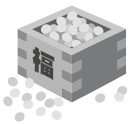
問 治水対策の一助として、各家庭に雨水貯留タンクの設置を広く促し、その設置費用の一部を補助できないか。

市長 小山市においては、平成20年度から雨水の有効活用や良好な水循環の促進に資することを目的に、雨水タンク設置費補助金制度を運用しています。また、雨水貯留タンクの設置は公共下水道事業の調整池や農地で進められている田んぼダムと同様に、河川への雨水の流出を抑制するための有効な手段であると考えています。今後は雨水流出抑制策としての雨水貯留タンクの設置について、市民の皆さま

まへ周知し、浸水対策に関する意識を醸成するとともに、設置に関わる費用の一部を補助することで設置促進を図り、河川や下水道への雨水流出を軽減していきます。

問 年々増える行政から自治会に対する要望について、自治会長の負担軽減対策として、窓口の一本化を図れないか。

副市長 自治会運営や自治会内の様々な問題に関する相談先や担当部署が分からない場合、市民生活安心課が窓口となりますので、ご相談いただきますようお願いいたします。また、自治会運営がスムーズに行えるよう、自治会活動の手引きを各自治会に配布するほか、新たに小山市自治会連合会と連携し、新任自治会長を対象とした研修会の実施や、自治会内での引き継ぎのサポート等を行ってまいります。さらに、各種委員選出などの市役所からの依頼については、庁内での協議を早急に行い、自治会の皆さまの負担を軽減できる方法を検討します。



個人質問（発言順に掲載）



塚原 俊夫  
議員

質問事項 ①令和2年度一般会計繰越明許により令和3年度に繰越された事業②（仮称）とちぎフットボールセンター整備事業

問 令和3年度に繰越された事業の進捗状況および財源確保はどのようになってきているか。また、市債借入などに影響はないか。

市長 令和3年度に繰越した27事業は、18事業が完了し、残る9事業も令和3年度中に完了予定です。財源は、事業繰越に伴い繰越した国庫補助金等の特定財源のほか、令和2年度決算の歳入歳出差引額から、約2億円を一般財源として充当します。副市長 市債残高は、令和2年度末市債残高に令和3年度市債発行見込額を加え、定期償還額を差し引き、繰越事業に係る市債発行見込額を加えると、20億円増となる見込みです。



関 良平  
議員

質問事項 ①総合政策行政②都市行政③土地の先買い制度の廃止

問 開発許可制度の見直しについて伺いたい。

都市整備部長 近年の激甚化、頻発化する災害を踏まえ、災害リスクの高いエリアにおける開発を抑制すべく、国は都市再生特別措置法と都市計画法の一部を改正しました。この法改正により、市街化調整区域で特例的に開発を認める区域から浸水想定区域などが除外されました。また、特例的に開発を認める区域である、条例で指定する区域を明確化するように国から技術的助言を受けました。本市の条例で指定する区域は、市街化調整区域内の浸水想定区域を除外し、国が示す運用指針等に基づき、自然的条件や社会的条件から市街化区域との一体的な生活圏を構成する区域とします。



青木美智子  
議員

**質問事項** ①市街地における河川への雨水の流出抑制②審議会委員・各種委員会委員の選出③行政情報の提供

**問** 家庭での雨水貯留タンクの設置は、水の有効利用、市街地の浸水被害、河川への雨水流出抑制に有効であり、補助事業の促進を図れないか。

**市長** 雨水貯留タンクや浸透ますの設置の推進は、流域治水における氾濫をできる限り防ぐ、減らすための対策として、河川への雨水の流出を抑制するため有効な手段です。雨水タンク設置費補助金制度を拡充し、積極的に活用していくために、市民の皆様へ雨水貯留タンクなどの設置による有効性の周知を行うとともに、雨水貯留タンクなどの設置の推進により、市街地における河川への雨水の流出抑制を図っていきます。



荒川美代子  
議員

**質問事項** ①予防接種

**問** 子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨が再開されたが、すべての対象者に個別通知を出すべき。さらにキャッチアップ接種対応は。

**保健福祉部長** 子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した方への救済措置として、キャッチアップ接種が検討されています。現在、国で対象年齢や実施方法等を検討中で、今後も国の動向を注視し、医師会等と連携して効果的かつ迅速な事業推進に努め、対象者に対して個別通知を行うなど積極的な接種勧奨を行います。なお、小山市における対象者の抽出、勧奨通知の印刷等は既存システムで対応可能であり、予算措置も含めて迅速な対応に努めます。

※1 キャッチアップ接種  
さまざま理由により接種機会を逃した方に行う追加接種。



岡田 裕  
議員

**質問事項** ①保健福祉行政②市民生活行政③教育行政④土木行政

**問** 小山駅西口の思川桜並木に説明書きのある銘板を設置できないか。また、西口駅前には時計がないため、時計を設置できないか。

**建設水道部長** 思川桜については、今後、来訪者などにも分かるように、思川桜の由来などを明記した銘板の設置について検討します。小山駅西口駅前広場への時計設置については、現在進められている城山町三丁目第二地区市街地再開発事業に併せて西口駅前広場の再整備が必要と考えているため、今後の検討課題と考えています。



佐藤 忠博  
議員

**質問事項** ①保健福祉行政②市民生活行政③教育行政

**問** 幼稚園教諭・保育士の人材育成・確保の観点から、アパート等の家賃補助をして経済的支援をすべきでは。

**保健福祉部長** 保育士宿舍借上げ事業は、保育士の確保において、特に地元へ戻る傾向が強い、養成施設卒業後の人材流出抑止に効果があるものと認識しています。現在の補助制度では、補助対象が保育士個人ではなく、宿舎を借り上げている施設とされていることから、市内の教育・保育施設に対して、制度を導入した場合の利用希望の有無や、現状の住宅手当や家賃補助の支給状況等について調査を行い、本事業の導入が今後の小山市内の保育士確保にどの程度寄与するものであるか検証し、導入を検討します。





平野 正敏  
議員

**質問事項** ①高齢生きがい事業  
②コロナ対策③国民健康保険税  
問 敬老祝金について、年齢区

分によって廃止を盛り込む今回の条例改正については、内容を見直していただきたい。

**保健福祉部長** 敬老祝金について

では、小山市敬老事業検討委員会  
会で制度見直しについて検討したところ、平均寿命の延伸を踏まえ、本事業を継続するために対象年齢を引き上げることが妥当との結論に至り、満77歳および満88歳の方への敬老祝金の対象年齢を、満80歳および満90歳へ引き上げるとともに、満100歳の方への敬老祝金を減額、満95歳および満101歳以上の方への敬老祝金を廃止することとしました。事業見直しの結果、縮減した費用は、高齢者の皆さまが地域で安心して過ごすための施策に重点的に充て、効果的な活用に努めていきます。



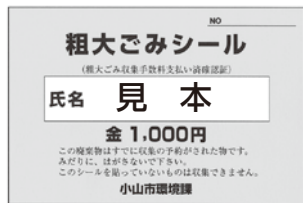
大平 拓史  
議員

**質問事項** ①マイナンバーカード②ストリートメディアカル③市民生活行政④教育行政

**問** 粗大ごみの戸別収集について、インターネット受付や粗大ごみシールのコンビニなどでの取り扱いを導入して、効率化すべきでは。

**市民生活部長** インターネット

受付やコンビニ払いは、市民の皆さまの利便性向上につながるものと認識していますが、導入には費用がかかります。現在、利用者には負担いただいている手数料では処理費用を賄っていないことから、インターネット受付やコンビニ払いの導入方法や、受益者負担の適正化について研究し、より利用しやすい方法を考えていきたいと思います。



粗大ごみシール



細野 大樹  
議員

**質問事項** ①市民生活行政②保健福祉行政③消防行政④選挙制度

**問** 絹地区にも、思川西部地区や下野市、結城市のように、早急に防災行政無線の屋外スピーカーを設置できないか。

**危機管理監** 防災行政無線は、

屋外拡声器の音声が暴風等により聞こえにくい等の課題があったため、令和元年度には放送内容を再確認するためのテレホンサービスを導入しました。また、多様な伝達手段を組み合わせ、災害情報を市民等へ広く確実に伝達するため、平成29年度には緊急割り込み機能付きの防災ラジオを導入しました。防災行政無線は災害情報伝達の一つの手段として有効であるため、今後、絹地区を含む浸水想定区域や、おーラジが聞こえにくい地域について、財政状況を勘案しながら優先的に整備を進めます。



片山 照美  
議員

**質問事項** ①新型コロナウイルス感染症対策②重度心身障がい者の医療費③同行援護

**問** ワクチン接種券配付に際し、高齢者や障がい者に対し、封書・通知文を郵送するにあたり、どのような配慮があったのか。

**保健福祉部長** 高齢者への通知

には、集団接種・個別接種それぞれの予約方法を詳しく明記し、字の大きさや色などに配慮して分かりやすい案内となるよう心掛けて作成しました。また、視覚障がい者への通知には、点字ボランティアの方に協力いただき、点字による案内を同封しました。追加接種の接種券配付についても、文字の大きさや簡潔で分かりやすい表現など、高齢者や障がいのある方に配慮して作成したいと考えています。





### 次回定例会の予定

2月17日(木)	本会議 (開会・議案上程)
2月21日(月)	本会議 (一般質問)
2月22日(火)	本会議 (一般質問)
2月24日(木)	本会議 (一般質問)
2月25日(金)	本会議 (一般質問・付託)
3月1日(火)	委員会
3月2日(水)	委員会
3月3日(木)	委員会
3月4日(金)	委員会
3月7日(月)	委員会
3月8日(火)	委員会
3月17日(木)	本会議 (採決・閉会)

※正式な日程および傍聴定員については、後日開催する議会運営委員会にて決定します。決定内容は、小山市議会ホームページでご確認いただけます。



#### 令和3年第4回定例会の傍聴者数

12月定例会の傍聴者数は、67人でした。

11月30日	= 2人
12月 2日	= 31人
3日	= 14人
6日	= 6人
7日	= 13人
23日	= 1人

### 本会議はインターネットで ご覧になれます。

市議会本会議のインターネット中継・録画配信をおこなっています。ぜひご利用ください。



(小山市議会ホームページからリンクしています。)  
<http://www.oyama-city.stream.jfit.co.jp/>

### 議会日誌

- 10月18日 決算審査特別委員会
- 10月19日 決算審査特別委員会
- 11月2日 市執行部との定例懇談会／会派代表者会議
- 11月4日 議会広報委員会／議員説明会／議会運営委員会
- 11月9日 議会運営委員会
- 11月24日 議会運営委員会／会派代表者会議
- 11月30日 議会運営委員会／議会広報委員会
- 12月2日 会派代表者会議
- 12月3日 議員説明会
- 12月7日 議会運営委員会
- 12月9日 民生常任委員会
- 12月10日 教育経済常任委員会
- 12月13日 建設水道常任委員会
- 12月14日 総務常任委員会
- 12月15日 予算審査常任委員会／会派代表者会議
- 12月23日 議会運営委員会／公共施設等整備調査特別委員会／議会改革推進協議会／議会改革推進協議会理事会
- 1月14日 議会広報委員会

### 議場見学



議場見学の様子

11月26日 豊田北小 32名



コロナ禍の昨今にあって、感染症防止対策の一環として当たり前のよう<sup>いしずえ</sup>に自粛慣れが浸透してきています。こういった状況が続くことにより懸念されるのが、『コミュニティ力』の低下です。ここでは「安心安全な住みよいまちづくり」の根幹となる「支え合う力」、「助け合う力」のことを言い、そういった力が弱くなっていくことです。

「ウィズコロナ時代」に入り、人々の暮らし方や価値観の変化を論じることが多くなってきましたが、『コミュニティ力』の価値観をどうみるか、そして、どう大切にしていけるかが重要ではないかと感じます。

今年の干支は、十二支と十干(じっかん)を組み合わせた本来の干支で言う60年振りの壬寅(みづのえとら)です。この謂われのように厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる一年になりますよう皆さまとともに取り組んでまいる所存です。(高橋)